

平成 30 年度事業計画

I、植樹事業特定資産

1、大阪府「府庁舎本館」植栽一式

府庁本館南側の歩道を拡幅して、平成 28 年度に植栽した国際がんセンターの並木と同様にトウカエデを植えて、大手通りを風格ある歩行者空間とする。

2、大阪府「安威川ダム」植樹一式

平成 34 年のダム完成に向けてダム湖畔にヤマザクラとイロハもみじの植栽を行い、周辺の景観を作ることでダム周辺の散策やハイキングを楽しめるようにする。平成 27 年度から開始して 4 年目の事業。

3、大阪府「槇尾川上流部」植栽一式

ダム建設事業（中止）用地の山林が伐採されたままになっており、荒廃した森林を再生・保全するためキリシマツツジを植えて府民の楽しめる環境を作る。この地域には平成 25 年度に黒田緑化事業団の寄付で桜 30 本、もみじ 34 本を植えている。

4、大阪府「服部緑地サクラの杜」植栽一式

平成 29 年度に改修した円形花壇を中心として、周遊して楽しめる「花木の見どころ景観づくり」を推進する。桜を植えて新たな森を作り、そのシンボルツリーとなる枝垂桜を植える。

5、大阪府「大泉緑地桜広場」植栽一式

桜広場の桜は樹齢 50 年を超え、枯損や老朽化が目立ち始めている。樹木の追加と更新を行う。

6、大阪府「服部緑地あじさいの森」植栽一式

円形花壇に隣接する位置を「あじさいの森」として整備し、「サクラの杜」と合わせて花の見どころを創出する。

7、忠岡町「町道中央線」植栽一式

昭和 48 年に整備した「さつき通り」のさつきが、寿命と散水設備の老朽化により一斉に枯れてしまった。街を特徴づける最も重要な景観要素の一つとして位置づけられる中央線の景観を再生したい。

8、守口市「桃町緑道公園」植栽一式

緑道公園の桜が 50 年を経過し老木となったため、これを機に公園を整備し直し桜のトンネルとしての景観を創出する。3 年計画の初年度として国道 1 号線と地下鉄守口駅に隣接している地にシンボルツリーを配置して、際立たせるために周辺の低木を撤去する。

9、大阪市「正蓮寺川公園」植栽一式

正蓮寺川を埋め立てた 18.8ha（幅 80～90m、長さ 2.5km）を 20 年かけて公園化する事業を平成 28 年度にスタートさせた。3 年目の工事を隣接する高見公園の改修と共に行う。今年度は地域の市民が資金を出し合って苗を購入して自らの手で植えるという企画も並行して行い、緑豊かな潤いのある公園整備を進める。

- 1 0、大阪市「中之島バラ園」植栽一式
明治 24 年にオープンした中之島公園は「中之島水上公園」を基本コンセプトに、対岸からも船上からも公園を楽しめるように平成 22 年にリニューアルした。中心となるバラをもっと楽しんでもらうため、スタンドポールを使って立体的にバラを配置してボリューム感を出して、水に映える演出でバラ園の魅力をさらに向上させる。
- 1 1、大阪市「淀商業高校」植栽一式
平成 27 年～29 年度に校舎の増築工事のため樹木を撤去した。学校及び地域の緑化環境向上のための整備を行いたい。
- 1 2、大阪市「旭東中学校」植栽工事一式
平成 28 年度に校舎の増築工事のため樹木を撤去した。学校及び地域の緑化環境向上のための整備を行いたい。
- 1 3、大阪市「梅南津守小学校」植栽工事一式
平成 27～28 年度に校舎の増築工事のため樹木を撤去した。学校及び地域の緑化環境向上のための整備を行いたい。
- 1 4、大阪市「友渕小学校」植栽工事一式
平成 29 年度に校舎の増築工事のため樹木を撤去した。学校及び地域の緑化環境向上のための整備を行いたい。
- 1 5、大阪市立大学植栽一式
 - ①杉本キャンパスの周辺を桜を中心に植樹
 - ②附属病院の玄関周辺と屋上緑化の整備

II、緑化事業積立資産

大阪府「中之島にぎわいの森づくり事業」植栽一式

中之島にぎわいの森のシンボルツリーとして、現在 5 本のドイツトウヒが植えられている（八軒家浜、中之島バンクス、ほたるまち、若松の浜、中之島公園芝生広場）。6 本目のシンボルツリーとして大阪城公園の第 2 寝屋川から大阪城と一緒に眺められる位置にドイツトウヒを植える。

黒田緑化事業団は今までに若松の浜と芝生公園の 2 本を寄贈しており、今回が 3 本目となる。ドリカムとのコラボレーションで植樹式を盛り上げる予定である。